



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1995・96年度国際ロータリー・テーマ 国際ロータリー会長 ハーバート・グラハム・ブラウン



**Act with Integrity
Serve with Love
Work for peace**

〈本日のプログラム〉

第 411 回 平成 8 年 5 月 24 日(金)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「 奉仕の理想 」
3. 食 事
4. 会 長 の 時 間
5. 幹 事 報 告
6. 各 委 員 会 報 告
7. 卓 話
8. 点 鐘

会 長 藤 堂 孝 一
副会長 斎 藤 芳 夫
幹 事 福 井 輝 文
会 計 中 武 靖 雄
会 員 長 垂 水 敏 雄

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 ☎0985-73-0015

事務局 宮崎郡佐土原町大字下田島20614-9
佐土原町建築業協会内
☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170

第410回例会記録

(1996. 5. 17)

☆会長の時間

藤堂孝一君

皆さん今日は、本日は第410回例会です。初めに、今日ご入会になられます林 卓美氏と、西都RC大石太郎氏からご紹介がありました宮崎トラベル・サービス代表取締役社長山本氏をご紹介いたします。(出会者全員の大拍手)

山本氏は本日はご見学ということで、2週間先に正式にご入会いただく予定になっています。

5月14日に、社会奉仕委員長伊東君と、空き缶等投げ捨て防止を呼び掛ける『自覚』と題する立看板の久峰総合公園への設置場所について、町役場担当職員と立ち会いのうえ決定しました。

2週間後ぐらいに贈呈式を行うことができると思いますので、その節は例会場を現地に移して、全会員にご参加をお願いしたいと考えます。

帰途に佐土原RCの寄贈しました桜並木の路を二人で歩いてみましたが、若葉の緑が一入鮮やかで、活着していることがはっきり分かりました。来春の桜花満開の頃に、皆さんも是非御覧ください。

ロータリー財団奨学金を希望しておられる宇都宮さんから、申請書が提出されました。大学の成績証明書も添付してありましたが、大半がAの評価で、成績優秀な学生であります。

ご本人は2年間の奨学生を希望してい

ましたが、枠が2名しかなく大変選考が厳しいことを伝えますと、1年単位の奨学生志望に変更しますと言われました。

後者の募集枠は8名ですので、恐らく大丈夫だろうと思います。

5月19日(日)の第2730地区協議会出席予定者のうち3名の方が出席できなくなりましたので、ご都合のつく方はご参加をお願いいたします。

☆会員増強委員会

より

委員長 正岡文郁君

先きほど藤堂会長よりお話しがありました、新入会者林 卓美君をご紹介いたします。ご略歴は本日の週報に掲載してありますので、割愛させていただきます。

林君は大光寺の前の門前地区のお生まれで、ご幼少の頃から存じ上げております。真面目な好青年で、32歳という若さと情熱と行動力で、必ずや佐土原ロータリークラブに新風を吹き込み、クラブの活性化に寄与していただくことと期待しております。

ただ今からご入会式を行います。

[藤堂会長よりロータリー徽章を着装し、全会員の祝福の大きな拍手のうちに林君のご入会式が無事終了しました。]

☆林 卓美新会員のご挨拶

まだ若い未熟者でございますので、いつかは皆様方のような立派な先輩たちと知り合い、自己練磨を希望していました。

ロータリーについても皆様方から学び、尽力する所存です。なにとぞよろしく。

☆幹事報告

福井輝文君

1. 例会変更通知

*小林中央RC 5月21日 12:30
ガーデンベルズ小林

2. 第2730地区協議会参加者の最終確認をします。

伊東忠・赤木・宮原・梶田・吉田・
恒吉・福井・藤堂・濱田・正岡・林・
松田・池田・徳丸・田村・加藤各会員
出発は5月18日(土) 16:00で、
町役場駐車場にご集合ください。
宿泊は鹿児島ワシントンホテルです。

☎099-225-6111

☆出席報告

委員長 恒吉正志君

会 員 数	33名
H C 出席者数	26名
欠 席 者 数	7名
出 席 率	78.8%
メークアップ者数	4名
修正出席率	90.9%
欠 席 者 名	伊藤・神宮・細

本日のビジター

西都RC 高山隆憲君

☆会員卓話

吉田康一郎君

私は昭和24年6月2日に日南市で生まれました。両親は長崎県島原出身です。

父が陸軍軍医でしたが、久留米から志布志の部隊に転属になり、終戦後の昭和26年に飢肥で保健所長を経て、開業し

たと聞いています。私が5歳の頃父が乗用車(ニッサンダットサン1号)を購入したのを記憶しております。

父は車好きであつたらしく、その後もオースチン、トヨタコロナ、ブルーバード、観音開きのクラウン等を次々と買い替えていったようです。

おかげで私も中学生の頃には、無免許で宮崎までドライブしたこともあります。

中学2年の頃には家庭の事情で、一時島原の母の実家に居ましたが、南の九十九島と称される所だけに、大変風光明媚な自然環境でありました。

1年ほどして日南の父のもとへ帰りました。父は私を後継者にしたかつたようですが、当時の父の収入状況(治療費のない患者は米か野菜を持って来ていた)を見ていた私は、こんなに儲からない商売の医者になる気は毛頭ありませんでした。高校3年の時に父は脳出血で急逝し、医院を他の医師に貸していましたが、それも整理し、大学を中退して私は実社会への道を進むことにしました。

昭和44年に宮崎市の三菱自動車販売(株)に勤務しました。当時取り扱っていた自動車は、コルト1100、コルト800でした。

対抗車が、ニッサンサニー、トヨタカローラでした。サニーとカローラはヒット商品で、売りに行かなくてもお客さんの方から殺到するほどでした。

一方コルトはモータープールに置いたままになっている状況でした。1年も経過した車を手入れし、再検してから新車として売った経験もあります。(続く)

インターアクト・クラブ

(Interact Clubs)

インターアクト・クラブは、奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で相共に活動する機会を青少年に与えるために結成される。

インターアクト・クラブに入会できる者は高校に在学中の学生または年齢14歳から18歳までの若い人である。

インターアクト・クラブは次の目標をもっている。すなわち、建設的な指導力を養成し、自己の完成を図ること；他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践すること；家庭と家族の重要性に対する認識を涵養すること；個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養うこと；個人的成功のためにも、地域社会の改善のためにも、さらには団体としての業績を上げるためにも、各人が責任を負うことがその基本であることを強調すること；すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を認識すること；地域社会、国家および世界の問題についての知識と理解を深める機会を提供すること；国際理解と全人類に対する善意を増進するために、個人として、また団体として、進むべき道を切り開くこと。

インターアクト・クラブは、一つのロータリー・クラブまたは数クラブによって結成され、提唱され、かつ指導監督され、そして所管地区ガバナーによって確認された後、国際ロータリーの証明と承認を得て設立される。その他の方法では、創立することも、維持することもできない。クラブの存続は、提唱ロータリー・クラブの不断の後援と国際ロータリーが継続して承認を与えるか否かにかかっている。

国際ロータリーが設定した機構の下に、提唱ロータリー・クラブは、インターアクト・クラブを結成し、その後指導と助言を与える責任を有し、かつインターアクト・クラブのすべての活動、方針並びにプログラムを完全に統制し、かつ指導監督する。

インターアクト・クラブが学校関係である場合、提唱ロータリー・クラブは、そのクラブに対しては、当該学校当局制定の全学生団体並びに課外活動に関する規定並びに方針と同一のものに従うべきものであることを了解のうえ、学校当局の完全な協力の下に、当該インターアクト・クラブを統制し、指導監督するものとする。

インターアクト・クラブは、会員が選出される居住地または学校の所在地がその区域限界内にあるロータリー・クラブにより提唱されるべきものとする。但し、国際ロータリー理事会が提唱ロータリー・クラブの区域限界外にインターアクト・クラブの結成を認める旨を文書をもって許可した場合はこの限りでない。

地区ガバナーは、地区内にインターアクト・プログラムを公表し、新しいインターアクト・クラブの結成を推進し、インターアクト・プログラムを運営するに際し、その補佐役として地区内各地のロータリアンから構成される地区インターアクト委員会を設置するよう要請されている。地区インターアクト委員会を設置することが可能であり、かつ実行できる場合は、1名ないし数名の委員を再任することにより、委員の継続性を保つよう規定すべきである。ロータリーの地区インターアクト委員会がその任務を遂行する場合は、インターアクト・クラブ会員と協議すれば、有益な結果が得られることと思う。

インターアクト・クラブ会員をロータリー・クラブ並びに地区大会のプログラムに参加するよう招待するロータリー・クラブおよび地区大会は、起こりうる法律上または道義上の義務と責任に対しクラブないし地区大会を保護するために、十分な旅行傷害保険および責任保険に加入すべきである。(65)

原則として、インターアクト・クラブは、他の団体の趣旨いかにかわりなく、他の団体に加盟または合併してはならない。

ロータリー・クラブは、教育機関を基盤とするインターアクト・クラブのほかには地域社会に基づくインターアクト・クラブをも提唱するよう奨励されている。

ロータリー情報委員会の任務

- 1) 会員候補者、新会員およびクラブ会員に、ロータリークラブにおける会員の特典と責務を詳しく知らせるようにする。
- 2) 会員にロータリーとその歴史、綱領、規模及び活動について詳しく説明して知らせるようにする。
- 3) 会員に国際ロータリーの管理、運営の現場に関する知識、情報を提供する。
- 4) 1月にロータリー理解推進月間を遵守すること。

ロータリー情報委員の選出

3名の委員で構成する

1年任期委員	1名	} それぞれの任期で構成。
2年任期委員	1名	
3年任期委員	1名	

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。

- 第一** 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第二** 事業及び専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そして社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること；
- 第三** ロータリアン総てがその個人生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第四** 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と平和を推進すること。（R I 定款第四条）